# 令和6年度 学校経営

21 世紀における高度情報化、国際化の急速な進展に伴う「知識基盤社会」においては、変化する社会に的確に対応するため、豊かな人間性、社会性、国際社会に生きる日本人としての資質の育成が望まれている。

本校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生きる力」を基本とした教育の充実を図り、県の主要施策や那覇市教育行政の施策を受けて、人間尊重の精神を基盤に、生徒一人ひとりの持てる能力を最大限に伸長し、自他の尊重、自分の良さを発揮できる生徒の育成をめざす。

そして、平成24年度からスタートした小中一貫教育の目指すところを踏まえ、神原・壺屋の両小学校と連携して9年間を見通した教育活動を展開し、「<u>夢・希望・志をもち社会を生き抜く</u>力を身につけた生徒の育成」をめざす。

そのため、全教職員で生徒の可能性を最大限に引き出し広げることができるような教育実践にあたり、「明日が待たれる楽しい学校」の創造をめざしたい。

また、学校は独自に存在するのではなく、地域の学校であることの認識に立ち、地域に根ざす 学校づくりを基本理念とし、「我が子を通わせたい学校づくり」を柱とした学校経営の実践に努 める。

さらに、地域の伝統文化を大切にし、本校職員の協働体制のもと、学校、保護者、地域の連携を密にし、教育目標の達成を目指し、「特色ある開かれた学校づくり」の創造に努める。

### 1 学校教育目標

## 【教育目標】

- 1 目標をもち自ら学ぶ意欲と創造性に満ちた生徒
- 2 心豊かで思いやりのある生徒
- 3 明るく健康でたくましい生徒

## 2 校訓 剛健進取

心身ともにたくましく、チャレンジ精神に富み、常に前に向かって積極的に生きる

3 育成したい資質・能力

【知識・技能】基礎・基本を大切にし確実に身につける力

【思考力・判断力・表現力】自他の事を考え抜き、判断し、表現できる力

【学びに向かう力・人間性等】苦手な事にもあきらめず最後までやり遂げる力

# 4 めざす生徒像・教職員像・学校像、願う家庭・地域像

#### 【めざす生徒像】 育成する資質・能力

- (1) 目標をもち自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
  - ①意欲を持ってよく学び創造性豊かな生徒
  - ②自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決し、行動する生徒
  - ③将来への夢や希望などの目標達成に努力する生徒
- (2) 心豊かで思いやりのある生徒
  - ①他人を思いやり、他人と協力・協調し、勤労の尊さを知る生徒
  - ②生命を大切にし、人権を尊重する生徒
  - ③美しいものや自然・文化に感動する感性を持った生徒
- (3) 明るく健康でたくましい生徒
  - ①心身の健康に留意し、体力の向上に努める生徒
  - ②基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健康で安全な生活を送ることができる生徒
  - ③危険を予測し、臨機応変に行動できる生徒

#### 【めざす教師像】

(1) 職員一人ひとりの良さを発揮して相互に高め合う教師

- (2) 「報連相+確認」を徹底し、より良い指導に繋げる教師
- (3) 業務の見直しや働き方の工夫改善によってゆとりを生み出し、子どもと向き合う教師
- (4) 情報化への自己研鑽と教育実践に励む教師

#### 【めざす学校像】

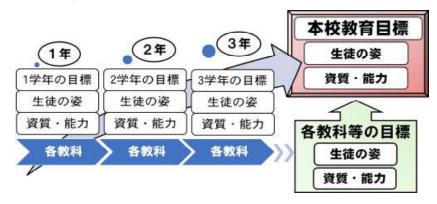
- (1) 心のこもった「あいさつ」で尊重し合える学校
- (2) 学びを保証する学校
- (3) 安全で安心して学べる学校
- (4) 地域に開かれた学校

#### 【願う家庭・地域像】

- (1) 親子が愛情と信頼の絆で結ばれたやすらぎのある家庭
- (2) 心身ともに豊かで健康な体を育て、子の成長を温かく見守る家庭
- (3) 凡事徹底により、基本的生活習慣を育み、互いを尊重する態度と思いやりを育む家庭
- (4) 家庭での学習習慣を身につけさせ、読書に親しみ、将来の夢や希望を育む家庭
- (5) 地域の学校に愛着を持ち、連携して生徒を育てる家庭・地域
- (6) 「地域の子は地域で育てる」という気概を持って子ども達を温かく見守る地域
- (7) 学校行事や地域行事に互いに連携・協力しあえる家庭・地域

# 5 学校経営目標

- (1) 生徒一人ひとりに『確かな学力』をつける授業づくりを目指す。
- (2) 生徒一人ひとりが輝く安全・安心で楽しい学校を目指す。
- (3) 職員がやりがいを持って仕事ができる協働体制のある職場づくりを醸成する。
- (4) 保護者や地域に開かれ、信頼される学校をつくる。
- 6 カリュキュラム・マネジメントに基づいた教育課程の編成



- (1) 学校教育目標を踏まえ、教科等横断的な視点による必要な教育内容の組織的な配列
- (2) 教育内容の質の向上に向け生徒の姿や地域の現状等に基づき、教育課程を編成し、評価・ 改善を図る PDCA サイクルの確立
- (3) 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等の効果的な活用